



多くの声援を背に…

30日(火)に開催しました小中合同ロードレース大会においては、保護者や地域の皆様にたくさんのご声援をいただきながら、子どもたち一人一人が自分に負けまいと一生懸命がんばることができま

した。本当にありがとうございました。小中学校がいっしょに開催するため、双方の様々な行事等の都合上、今年度より1月開催にしたロードレース大会です。2週間前まで小学校ではインフルエンザが流行し、加えて当日は冷たい北風と時折粉雪が舞う中のロードレースでした。子どもたちは、自分に勝つ前に、寒さに勝たなければいけない、(まあ、これも自分との勝負ということになるでしょうか…) そんな当日でした。

さて、今回はご声援くださった多くの皆様があまり見ることのない、当日に至るまでの取組をご紹介します。(小学校の場合です。)

まず、ロードレース大会に向けての取組は、12月に始まります。小学校では2校時と3校時の間に中休みとして15分の休み時間を設けています。この中休みの5分間を全校児童の持久走チャレンジタイムとし、音楽をかけながら自分のペースで走る練習をします。私たち職員もいっしょに走って励みます。そして、同時に子どもたちそれぞれに、マラソンマップを配付し、運動場を走った周数でカードに色を塗っていきます。朝やその他の休み時間に練習する子も出てきます。これよりちょっと前から、中学校では駅伝の朝練(7時～7時半)に取り組んでいるのですが、この朝練におじゃまさせてもらって中学生と走っている子もいました。特に目立ったのは、5年生の森岡聖斗君と遠山琉伊君です。中学生のペースにピッタリとついて、同じ距離を走るのですからびっくりです。

年が明けて1月になると、小中学校合わせての縦割り班を編制します。小学校1年生から中学校3年生が混じった班が12班できます。そして、合同の朝の練習が始まります。8時10分からの10分程度ですが、小中の子どもたちが小学校グラウンドに集まり、中学校代表の「今日は、フェリー乗り場まで



聞こえるぐらいの声でがんばるぞ～！」という気合い入れに、全員で「オ～！」。時々、中学校の某体育担当教諭から「そんならいじゃ、フェリー乗り場まで聞こえん！」とダメ出しを食らいながら、自分たちを鼓舞して合同練習が始まります。班別に準備運動をして5分走です。この5分間は中学生が小学生にピッタリくっついて、小学生のペースに合わせて走ってくれます。「がんばって。」「その調子!」「あと1分よ。」などの言葉が飛び交っています。

ロードレース前日になると、小中の「前日集会」というのを開きます。この前日集会は、明日に本番を控えてさらに気合いを入れること、これまでの合同のがんばりを確認し合うことが目的です。今年は、中学校教諭のアイデアで、事前に小1から中3と大島分校のそれぞれでショートムービーを作成し、BGM付きの1つの動画に編集。この動画の視聴から始まりました。班別に個人の目標や班の目標を確認、班別に円陣を組み気合いを入れた後は、小中の全員が一つの輪となって再度気合いを入れ当日に臨む気持ちを高めます。そして、当日を迎えます。



ロードレース終了後は、小学校体育館に小中が集まり、上位入賞者の表彰式と一生懸命がんばった自分たちを讃え合います。縦割り班ごとに集まり、小学生は中学生から自分の記録が書かれた金メダル(紙製ですが)を首にかけてもらいます。中学生の「よくがんばったね。」の言葉かけに、自慢げの顔をしたり、ちょっと恥ずかしそうな顔をしたりの子供です。

ざっと、このロードレースまでの一連の流れをお話ししました。ただロードレースに臨むだけではなく、小中の子どもたちの関わりがよく考えられた取組だと感心します。これまでこの形をつくり出してくださった過去の先生方、そして、something old & something new、新たな何かを加えようとアイデアを出してきた今の小中の職員に感謝です。



さらには、この寒い中一生懸命ご声援くださった全ての皆様に心より感謝いたします。走っている子どもたちは、熱い戦いを繰り広げているのですが、沿道で応援する方は躰の芯まで冷え切るような寒さだったと思います。また、この応援のためにわざわざ大島から来ていただいた皆さんの顔も拝見させていただきました。本当にありがとうございました。

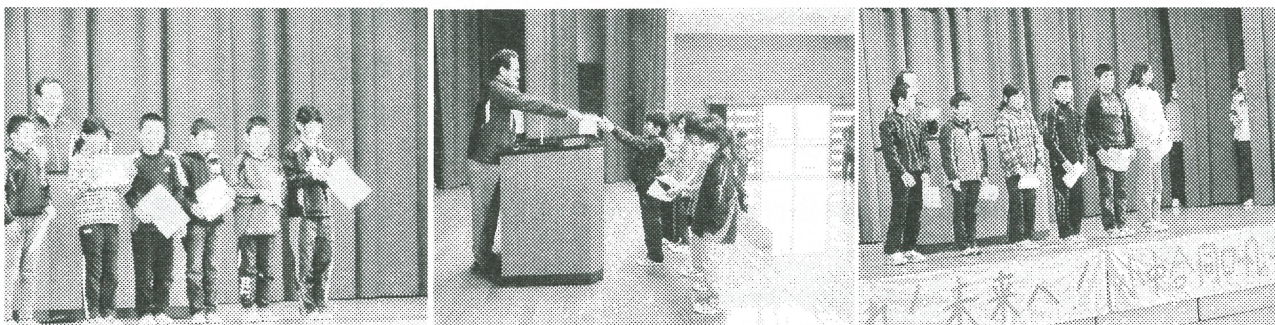
(ロードレース前集会で使用した動画はホームページで見ることができます。)

平成29年度 小中学校合同ロードレース大会の結果

1・2年；1000m 3・4年；1200m 5・6年；1400m

学年	1位	2位	3位
1年	濱田 乃愛 (大島) (4分31秒)	小崎 楓花 (大島) (4分32秒)	岩永 大空 (4分36秒)
2年	小崎 愛音 (大島) (4分6秒)	角永 太晟 (4分25秒)	田中 愛心海 (4分39秒)
3年	宮崎 真之 (4分49秒)	田中 瑠海 (5分6秒)	中野 友稀 (5分13秒)
4年	松本 我道 (4分52秒)	堀内 久渡 (5分1秒)	福崎 真奈 (5分8秒)
5年	森岡 聖斗 (5分11秒)	遠山 琉伊 (5分32秒)	川口 優紀 (5分32秒)
6年	川村 聖斗 (5分27秒)	森 拓己 (5分46秒)	濱田 朔羅 (5分46秒)

学校評価等のご意見を参考に、今年度は各学年の1～3位を表彰しました。



マラソンマップ完走者 (マップは1枚30km分です)

(2/1現在の完走者です。グランドを走った周数で記録しているので、1周の距離が違う大島は入っていません。ご了承ください。)

2年	田中 愛心海
3年	中野 友稀 田中 瑠海 吉村 優羽
4年	田中 海音 松本 我道 伊藤 秀一 堀内 久渡 福崎 真奈 堀 遥嘉 辻 彩弥斗
5年	森岡 聖斗 前田 海洋 門脇 健史 川口 優紀 松原 和紀
6年	森 拓己 橋元 竜次



中野友稀君と森岡聖斗君はカード2枚(60km)達成です。

今年も大活躍 タベルンジャーⅡ!

毎年、1月24日から30日は学校給食週間です。学校給食は明治22年、山形県鶴岡町の忠愛小学校で、弁当を持ってこられない子どもたちのために始まりました。しかし、昭和18年頃になると戦争がはげしくなったため、食料が不足して給食も中止になりました。昭和20年8月に戦争が終わり、世の中が落ち着いた昭和21年12月24日より、学校給食が再び始まりました。これを記念して1月24日から30日が学校給食週間となりました。



小値賀でも学校給食が始まり、3年目を迎えます。毎年この時期は、すこやか委員会の「サン給集会」に始まり、給食調理員さんへ毎日の調理へのお礼の手紙を書かせたり、郷土料理を献立に出したり、給食の納入業者さんをお招きして交流給食を行ったりしています。

先週行った「栄養にサン給集会」では、恒例のタベルンジャーが活躍しました。いつも自分の好きなものしか食べない「ぼっかりちゃん」。やがて、「ぼっかりちゃん」の健康を脅かす悪魔がやってきます。この悪魔をやっつけるのがタベルンジャー(ビタミン・グリーン、炭水・イエロー、タンパク・レッド)です。強いはずのレンジャーも、一人ではこの悪魔に太刀打ちできません。3人が力を合わせてこそ大きなパワーが生まれ、悪魔をやっつけられるというストーリーです。「すこやか委員会」の迫真の演技はなかなか見応えがあります。

小値賀小中学校は、残滓(ざんさい:残りかす)ゼロ。子どもによって多少の好き嫌いはあるものの、よく食べるようになった子どもたちです。「何でも食べてこの冬の寒さを乗り切れ、小値賀っ子!」

全国で6校!公益社団法人食品容器環境美化協会
「環境美化教育優良校」受賞



本校の小中高海浜清掃やペットボトルキャップ回収、PTAエコウォーキング、ゴミ防止カレンダー、ところてんづくりと海の環境学習などが評価され、県から推薦を経て、上記協会の優良校を受賞しました。この協会は全国的な飲料水メーカー6社の共催でできているもので、今回は全国の6校に選ばれ、先日長崎県環境部の方とアサヒビール長崎支社の支店長さんが来校され、授賞式を行いました。長崎新聞でも掲載される予定です。